

1. 高知南中学校・高等学校 PTA 役員会での主な意見

開催日：平成26年1月28日（火）

場所：高知南中学校・高等学校

【役員会での意見】

- 検討委員会から平成25年2月に報告書が提出されているが、なぜ1年もたったこの時期の発表になったのか、その経緯が分からない。
- どうして全体の学級数を減らすことで対応しないのか。市内校を例えば定員を20人ずつ減らしていけば、高知南の存続も可能ではないか。郡部の生徒の親の中にも中央部の高校へ行かせたいと思っている人もいる。郡部から生徒が集まってくることで、高知市の子どもが郡部校に行くことになる可能性もある。
- 高知市の中心部にある学校の統合をまず検討すべきではないか。高知南ができた当時から将来の生徒数が減るということは分かっていたはずである。高知南が募集停止になって、高知市南部の高知南に入学したい生徒がどうなるか心配である。
- 高知南は県内全域から生徒が集まっている学校である。グローバルという点でもいろいろなところから生徒が集まっている。
- 募集停止になれば生徒数が減り部活動などもできなくなり、学校の活力が失われる。
- グローバル教育については高知南でもできるのではないか。学級数が減って、少人数になっても良い教育をすることはできる。人数にはこだわらないでいいのではないか。
- 高知南は生徒のニーズがある学校である。また、統合の仕方についても、この案では後輩が入ってこない状況何年も続く状況である。学年が揃った状態で統合するというのであれば良いが、このやり方では廃校と同じである。
- この状態では定員どおりの生徒は集まらない。郡部の生徒数は今後もっと減ってくることを考えると、高知南があることは大事なことである。津波のことを言えば高知工業も同じような状況がある。
- 中高一貫教育という特色のある高知南中・高校で、人気もある学校なのに、なぜ西高と統合するのか。高知南も国際理解教育に力を入れている。統合の話が急に話が出てきて納得できない。
- 私立高校の定員等をそのままにしておいて、公立をなくしていくのはおかしい。
- 現状を聞いたうえでやってほしい。南はニーズがあり、そんな学校をなくすということなぜやるのか。
- 高知南をこのような形で無くすことで資料にも書いてある郷土愛が育てられるのか。子どもたちがいての学校であり、子どもたちは傷ついている。県の意向で「学校がなくなる」と言って分かりましたという人はいない。
- 商工会等からも話を聞いた方がよい。地域の経済の面でもなくなる影響は大きい。生徒数が減って学校がなくなるのとは違う。
- 高知南に施設があるのに、高知西に建物を建てるのはもったいない。高知南の建物等は使い道はない。
- 生徒数の減少が問題なのであれば、全体を減らすやり方で対応できる。津波への防災

は理由にはならない。

- もっと開かれた状況で協議すべきである。
- 案が変わる可能性はないのか。高知南が残る案も出してもらいたい。案を1つしか提示していないが、案はいくつか出さなければ検討にはならない。
- 中高一貫になり、中学校ができて10年ほどであるが、これから成果が出る学校である。
- 南中学校は落ち着いており、この12年で多くの先生が尽力してくれて、この成果になっている。これを閉校ということであれば本当に惜しい。
- 対等な統合にして、例えば高知西南高校とかにするならまだ良い。
- もっと子どもに視点を向けてほしい。この時期の発表でどれだけ生徒を傷つけたか分からない。
- 高知市に人口が集まっていて、その中での公立の高知南の中高一貫教育である。それをなくすことは考えられない。
- PTAの意見としては、この案で、このままは進めてもらいたくないという意見である。

2. 高知南中学校・高等学校保護者会での主な意見

開 催 日：平成26年1月30日（木）

場 所：高知南中学校・高等学校

【保護者会での意見】

- 適正規模が4～8学級であるのであれば、高知市内校を一律に学級数を減らしていけば、平成34年までは、高知市内校は適正規模である4学級以上を維持できる。統合の話は、それ以降に考えれば良いのではないか。
- 資料2「中央地域の入学者の状況」と資料3「中央部における学級規模の推移」ではデータの内容が異なっている。作為的にデータを使い高知南中高校の閉校にしたように感じる。同じデータで議論して欲しい。
- 規模が問題であるようだが、現在の40名学級から30名学級に減らしていく考えもある。30名学級にすれば、120名でも4学級を維持でき適正規模になる。
- 地震に対する不安があるので統合は納得がいかない。OBにとって学校がなくなることは酷いことである。他の高校も含めて一律に学級数を減らして欲しい。
- 新聞報道により、子どもたちは閉校を知り傷ついている。ケアをどうしていくか考えているのか。子供たちの気持ちを考えてもらいたい。
- この時期の発表により、受験生に大きな動揺を与えている。高校入試の願書を出したが閉校になる学校に行きたくないと言っている生徒がいると聞いている。また、最後の中学校入学生は6年間下級生がいない状態になる。このような状態で教育の質を保証できるのか。
- 学区撤廃で、高知市に生徒が集まるようになった。高知市に生徒が集まるようになると高知市内校を閉校にするのはおかしい。

- 高知市の他の高校の旧学区外からの入学者の比率を出して欲しい。高知南高校は高知市の生徒が多い。このことから地域に根差した学校だと言える。
- 高知市の高校でエレベーターを設置している学校は、高知南高校、高知小津高校、高知商業高校であり、中学校では、高知南中と潮江中だけである。エレベーターの利用が必要な生徒にとっては、高知南中高校が閉校になることにより選択肢が少なくなる。
- 高知市の市立中学校がどのような状態か把握しているのか。高知市内で一番落ち着いているのは高知南中だ。
- 津波浸水は、高知南中高校と高知工業高校とは同じ3Mである。なぜ、高知南中高校だけ閉校なのか。高知工業高校の地震対策はどうするのか。
- 高知南中は12年間続けてきて良い学校になってきている。なぜ、高知西高校に中学校を新設するのか。新設するメリットを示して欲しい。また、新設に至った経緯を示してもらいたい。
- 統合と言うのは、須崎のように対等にすべきである。高知西高校と対等な統合であるなら「高知西南高校」にするべきだ。それなら納得できる。閉校でなく統合と言うなら対等に統合してもらいたい。
- 高知西高校では、まったく異なった校風をもっている南との統合を嫌がっている。また、高知西高校の周辺の住民はこれ以上住宅周辺を生徒が通学することに対して困るとの声を聞いている。
- 今日の説明では納得できない。検討案ならなぜ複数案を出さないのか。1つの案のみなら高知南中高校の閉校になってしまう。最低3つの案を示すべきである。郡部の小規模校では生徒数が少なくなり閉校となるが、高知市の大きな学校がなくなることは想像できない。
- もう一度、この案を白紙に戻してもらいたい。次の会では修正案を示して欲しい。
- 高知新聞の「閉校という記事は間違っています」という訂正記事を載せてもらいたい。
- 1,000人の生徒たちは動揺している。教員も動揺している。もう一度「0」から審議してもらいたい。